

TimeTracker FX

SQL Server 2014 セットアップガイド

2016 年 2 月

株式会社デンソークリエイト

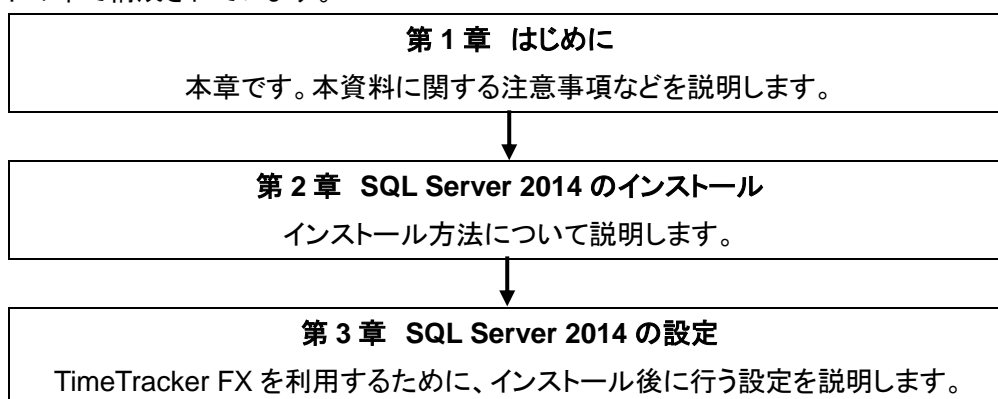
1. はじめに

本資料は、Microsoft SQL Server 2014(以下「SQL Server 2014」)を TimeTracker FX のデータベースサーバとして利用するために必要な設定や手順を説明しています。

SQL Server 2014 の機能や操作の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトや市販書籍などをご覧ください。

1.1. 本資料の構成

以下の章で構成されています。




1.2. 用語の定義など


■ サーバマシン

TimeTracker FX および SQL Server 2014 をインストールするコンピュータです。


■ SQL Server 2014

データベースサーバです。本資料では、Express Edition を想定しています。

 情報アイコン・・・ 補足情報や有用な情報を示します。

 注意アイコン・・・ 手順の中で、特に注意すべき情報を示します。

1.3. 注意事項など

 ご利用の環境によっては、本資料の手順と異なる場合がございます。
予めご了承ください。

※ このドキュメントに記載している情報(URL等のインターネットWebサイトに関する情報を含む)は、将来予告なしに変更することがあります。

※ Microsoft、Windows または、その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

2. SQL Server 2014 のインストール

本章では SQL Server 2014 のインストール方法を説明します。

⚠ 本章の操作は、サーバーマシンの管理者権限をもったアカウントで操作してください。

2.1. SQL Server 2014 インストーラの起動

SQL Server 2014 のメディアをサーバーマシンにセットすると、自動でインストーラが起動します。

ℹ 自動で起動しない場合は、SQL Server 2014 のメディアから[setup.exe]を実行します。

2.2. SQL Server 2014 の新規インストール

[SQL Server インストール センター](図 1-1)が表示されます。

[インストール]を選択して、[SQL Server の新規スタンドアロン インストールまたは既存のインストールへの機能の追加]をクリックします。

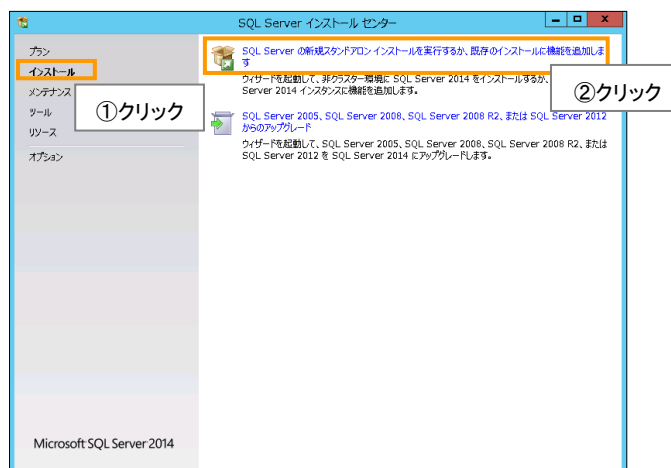


図 2-1 SQL Server インストール センター

2.3. ライセンス条項の確認

[ライセンス条項] (図 1-2) が表示されます。

条項の内容を確認後、[ライセンス条項に同意します]にチェックして、[次へ]をクリックします。

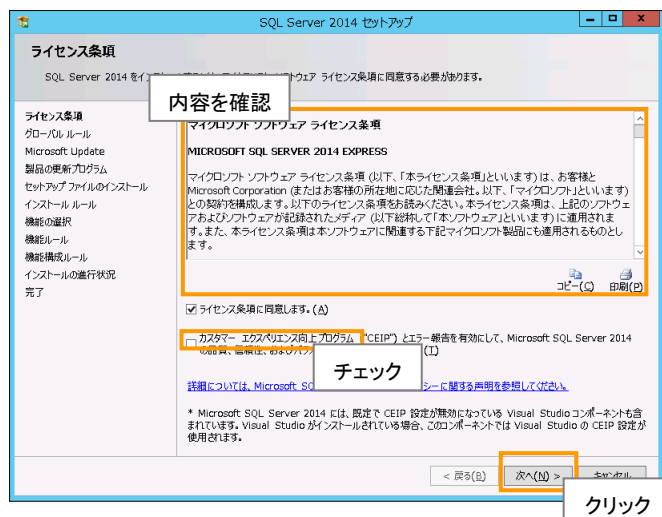


図 2-2 ライセンス条項

2.4. グローバル ルールの確認

サーバーマシンがインストール要件を満たしているかどうかチェックされます。

- ① インストールに必要な条件を満たしている場合は、すべて「合格」となり、自動で次の画面に移動します。
- ① 条件を満たしていない場合、「失敗」となりインストールが中断します。「失敗」リンクから詳細を確認し、解決してください。

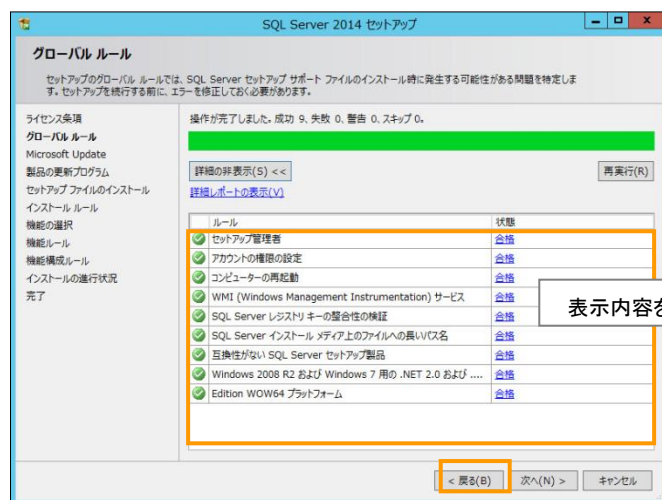


図 2-3 グローバル ルールの確認

2.5. 更新プログラムの確認

インストールする SQL Server の更新プログラムを確認します。

必要に応じて[Microsoft Update を使用して更新プログラムを確認する]にチェックして、[次へ]をクリックします。

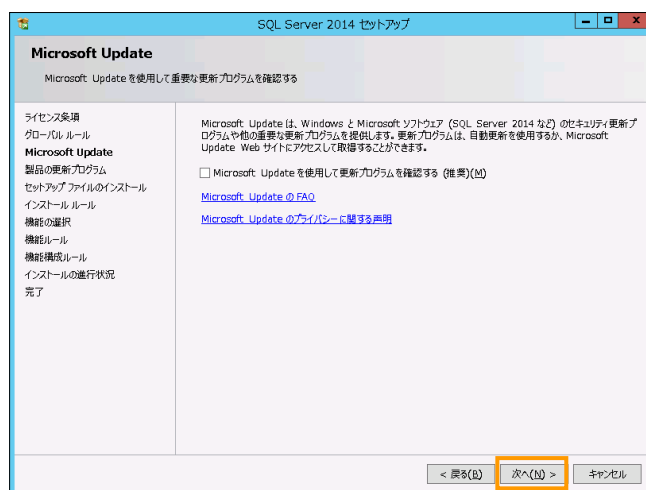


図 2-4 製品の更新プログラム

なお、セキュリティとパフォーマンスを強化するため、更新プログラムが検出された場合には、対象の更新プログラムをインストールすることをご推奨いたします。

2.6. セットアップ ファイルのインストール

SQL Server のインストールに必要なセットアップ ファイルをインストールします。

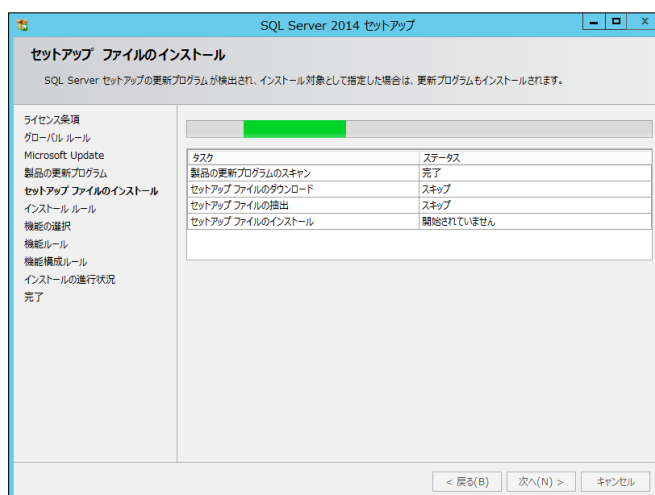


図 2-5 セットアップ ファイルのインストール

2.7. インストールルールの確認

SQL Server のセットアップ時に発生する問題を確認し、表示される指示に従い必要なコンポーネントをインストールします。

- ① インストールに必要な条件を満たしている場合は、すべて「合格」となり、自動で次の画面に移動します。
- ② 条件を満たしていない場合、「失敗」となりインストールが中断します。「失敗」リンクから詳細を確認し、解決してください。

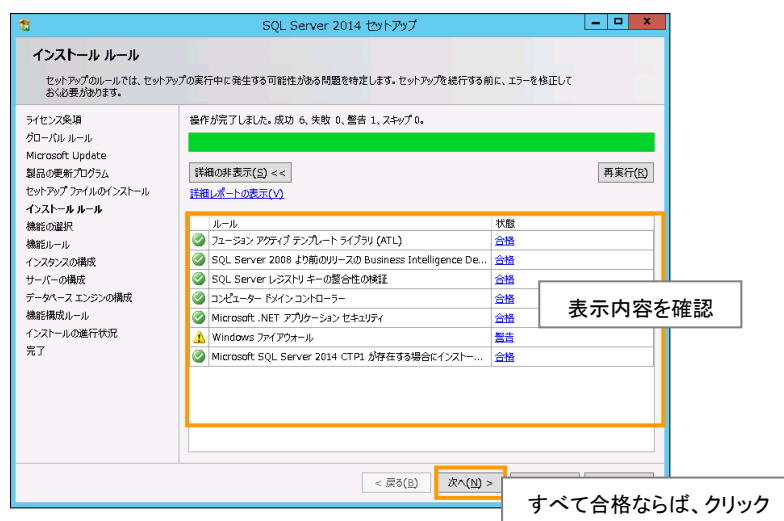


図 2-6 インストール ルールの確認

2.8. インストールする機能の選択

インストールする機能を選択し、[次へ]をクリックします。

- ⚠ [データベースエンジンサービス]は必須です。

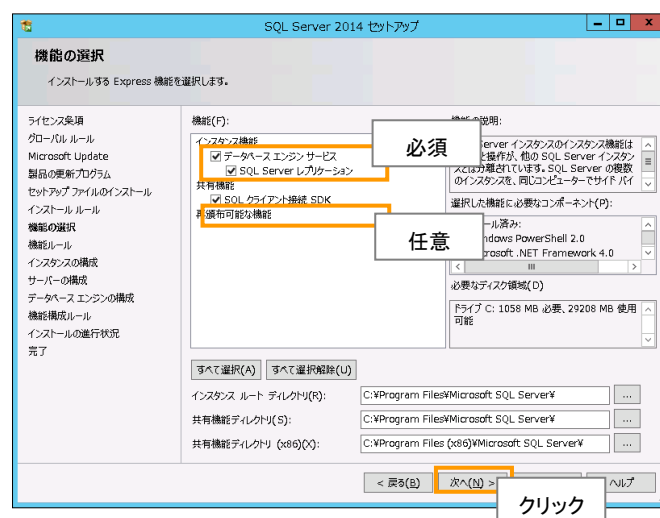


図 2-7 機能の選択

2.9. 機能ルールの確認

選択した機能が正常にインストールされるかを確認します。

- ① インストールに必要な条件を満たしている場合は、すべて「合格」となり、自動で次の画面に移動します。

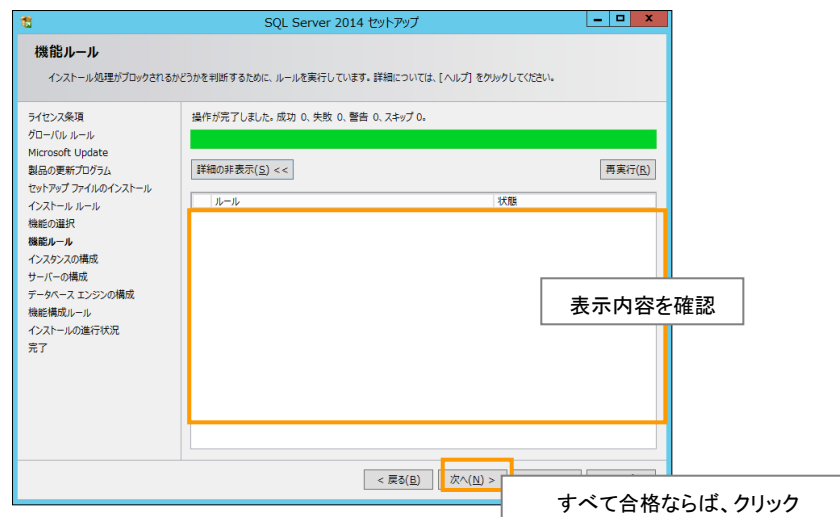


図 2-8 機能 ルールの確認

2.10. インスタンスの構成

インスタンス名を設定し、[次へ]をクリックします。

- ⚠ [名前付きインスタンス]を指定した場合は、設定した値をメモなどに記録してください。
- ⚠ 設定した値が、TimeTracker FX のデータベースを作成するのに必要となります。
- ① 本書では[名前付きインスタンス]を指定し、「TIMETRACKERFX」とします。
- ① インスタンスの詳細については、[ヘルプ]をご覧ください。

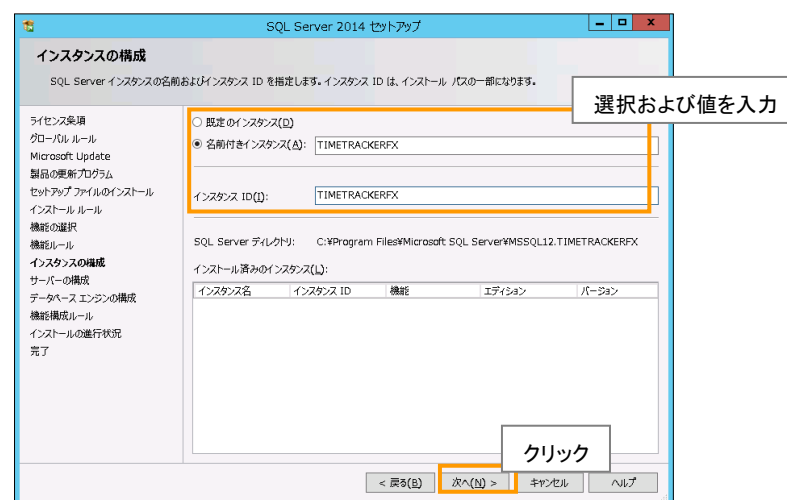


図 2-9 インスタンスの構成

- ① インスタンスの設定と、[データベース作成ウィザード]の関係は以下の通りです。

インスタンスの設定

- 既定のインスタンスの場合
サーバーマシン名を選択します。
- 名前付きインスタンスの場合
サーバーマシン名 + ￥ + 設定したインスタンス名を選択します。

[データベース作成ウィザード]

2.11. サーバの構成 (サービスアカウントの設定)

SQL Server サービスのアカウントを設定し、[次へ]をクリックします。

- ① TimeTracker FX を利用する上で、特に変更する設定はありません。システム運用・管理のポリシーに従って設定してください。詳細は、[ヘルプ]をご覧ください。

| サービス | アカウント名 | パスワード | スタートアップの種類 |
|------------------------|-----------------------|-------|------------|
| SQL Server データベース エンジン | NT Service\MSSQL\$... | | 自動 |
| SQL Server Browser | NT AUTHORITY\LOC... | | 無効 |

図 2-10 サービスアカウント

2.12. 認証モードの設定

以下の設定を行い、[次へ]をクリックします。

- [認証モード]・・・[混合モード]を選択します。
- ビルトイン SQL Server システム管理者アカウント(sa)・・・パスワードを設定します。
(SQL Server 認証で利用する管理者アカウントの設定です)
- SQL Server 管理者の指定・・・[追加]をクリックして、アカウントを追加します。
(Windows 認証で利用する管理者アカウントの設定です)

⚠ TimeTracker FX は、[Windows 認証モード]では動作しません。

⚠ 設定したパスワードは、TimeTracker FX のインストールなどに使用します。

⚠ パスワードは、容易に推測できない文字列を設定し、取り扱いにご注意ください。

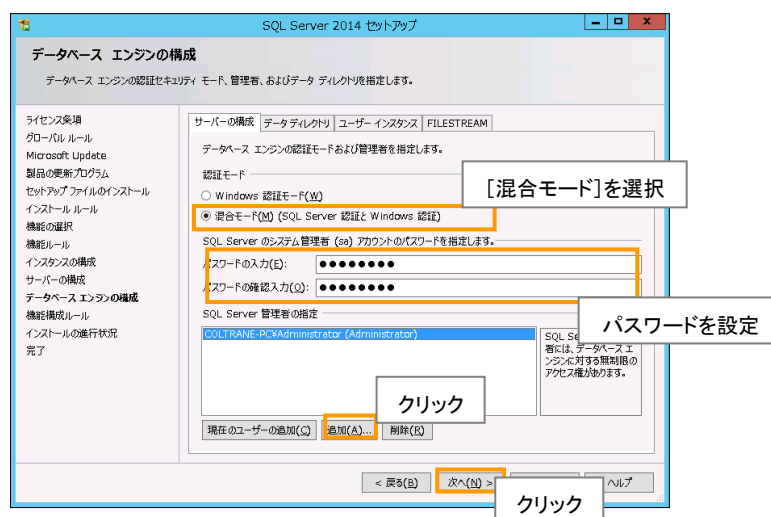


図 2-11 認証モード

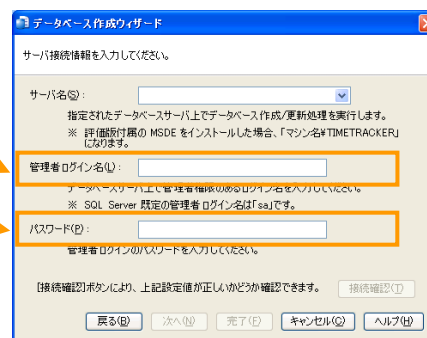
- ① sa のパスワードは、[データベース作成ウィザード]の以下の画面で利用します。

認証モードの設定

- sa (管理者のログイン)

- パスワード

[データベース作成ウィザード]



2.13. インストールの進行状況

インストールを開始すると、進捗状況が表示されます。完了するまで操作は不要です。

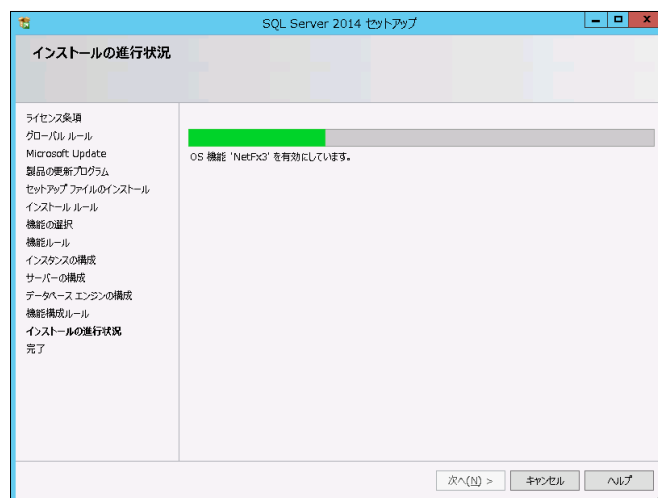


図 2-12 インストールの進行状況

2.14. セットアップの完了

[セットアップ操作または実行可能な次の手順に関する情報]から、エラーや問題がないことを確認します。

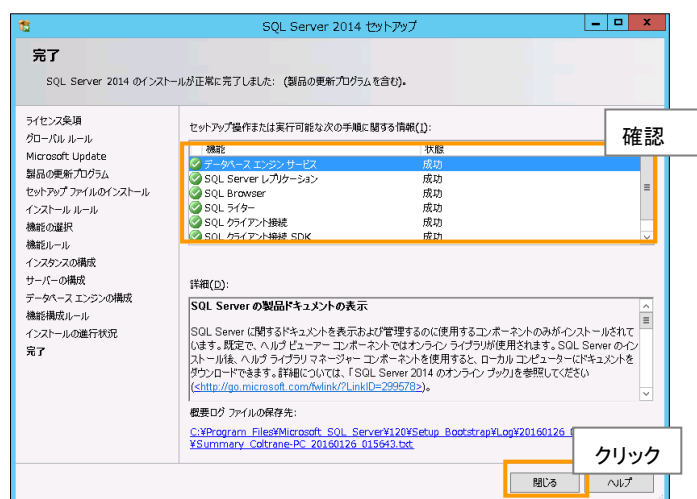


図 2-13.セットアップの完了

問題がなければ、[閉じる]をクリックしてインストールを終了します。

2.15. サーバマシンの再起動

サーバマシンの再起動をするように表示された場合は、サーバマシンを再起動してください。

3. SQL Server 2014 の設定

SQL Server 2014 は、既定の状態では外部からのアクセスが一部制限されています。

本章では、TimeTracker FX からアクセスするためのネットワークプロトコルを有効にする方法を説明します。

3.1. SQL Server 構成マネージャの起動

Windows[スタート]メニューの[(すべての)プログラム]-[Microsoft SQL Server 2014]-[構成ツール]-[SQL Server 構成マネージャ]をクリックします。

3.2. ネットワークプロトコルの確認

[SQL Server ネットワークの構成]-[TIMETRACKERFX のプロトコル]をクリックします。

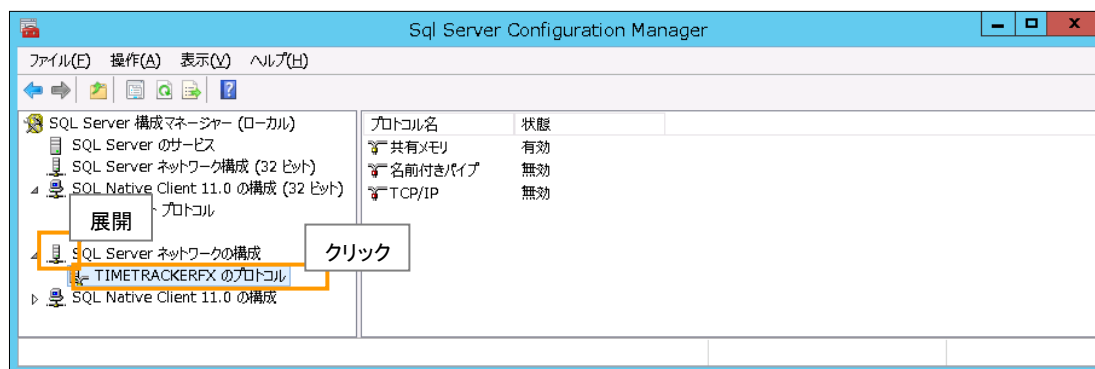


図 3-1.SQL Server 構成マネージャ

3.3. TCP/IP の有効化

TCP/IP が無効になっている場合は、TCP/IP を右クリックして[有効化]をクリックします。

① TCP/IP が有効になっている場合は、本手順は不要です。

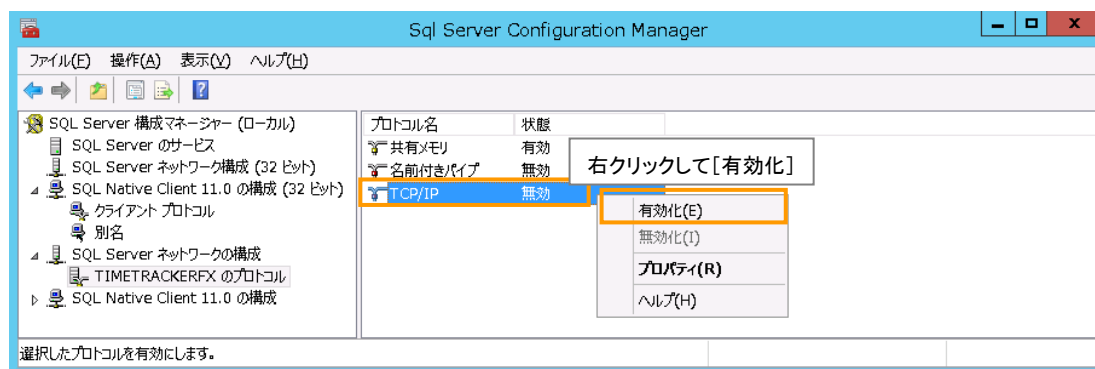


図 3-2.TCP/IP の有効化

3.4. SQL Server Browser の設定

⚠ この手順は、名前付きインスタンスを設定している場合に行います。

[SQL Server のサービス]-[SQL Server Browser]をダブルクリックします。

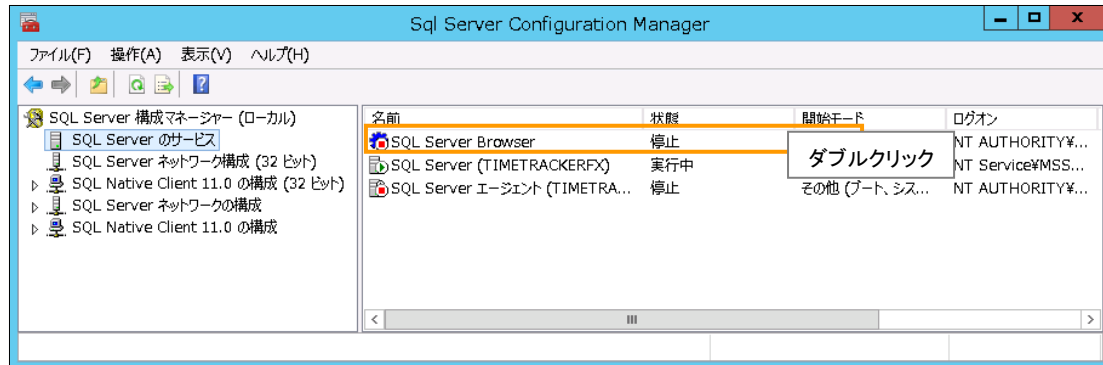


図 3-3 SQL Server Browser の設定

3.5. SQL Server Browser の開始モードの変更

[サービス]タブをクリックして、[開始モード]を[自動]に変更します。

[OK]をクリックして、[SQL Server Browser のプロパティ]を閉じます。

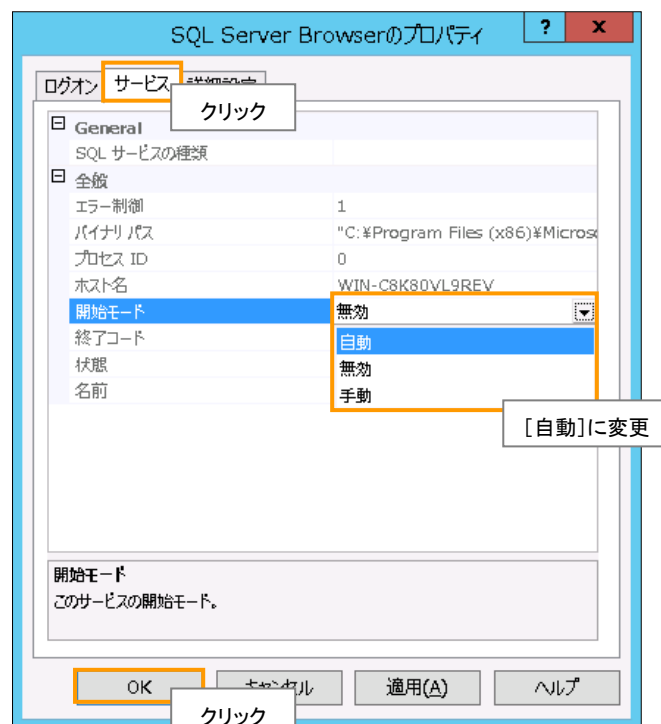


図 3-4 SQL Server Browser の開始モードの変更

3.6. SQL Server Browser の起動

[SQL Server のサービス]-[SQL Server Browser]を右クリックします。

[開始]を選択すると、SQL Server Browser が起動します。

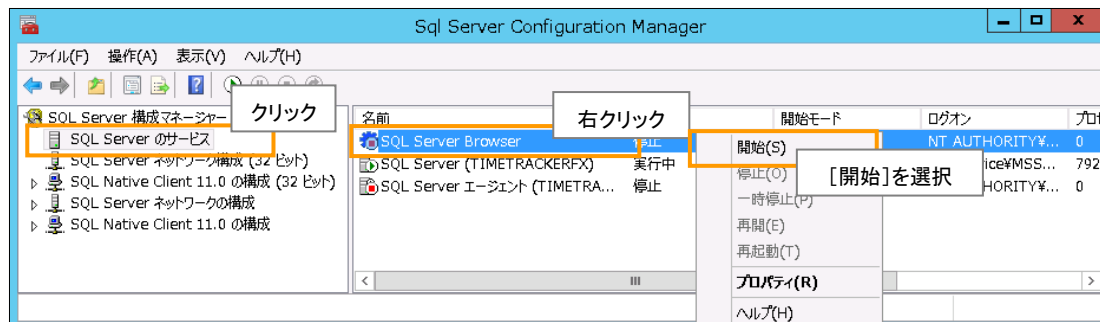


図 3-5 SQL Server Browser の起動

3.7. SQL Server の再起動

[SQL Server のサービス]-[SQL Server (TIMETRACKERFX)]を右クリックします。

[再起動]を選択すると、SQL Server が再起動し、TCP/IP が有効になります。

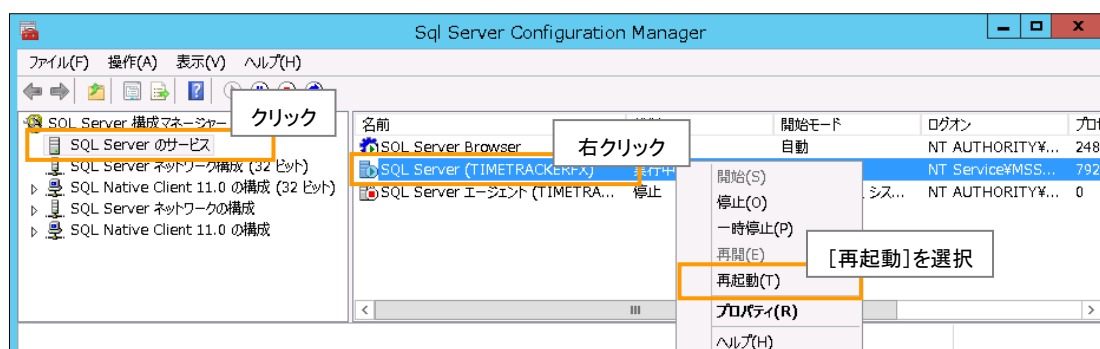


図 3-6 SQL Server の再起動

再起動が完了したら、[SQL Server 構成マネージャ]を終了させます。

以上で SQL Server 2014 の設定は終了です。

TimeTracker FX セットアップガイドをご参照いただき、TimeTracker FX のインストールおよびデータベースの作成を行ってください。

以上■